

大宅文庫二三文

(題字 大宅 昌)

第82号

2014年1月15日発行

■
発行所

公益財団法人大宅社一文庫

理事長 枝廣映子

東京都世田谷区八幡山3-10-20

〒156-0056

電話03-3303-2000

鳥山 輝

大宅先生にせめて半返しでも・・・

中央公論社の経営が破たんし、読売新聞社が支援することになったのは、平成十一年二月のことである。私は再建のため出向し、中央公論新社の会長に就任した元オーナーの嶋中雅子さんに、こう挨拶した。

「私と妻は大宅先生の門下生です。大宅社一東京マスコミ塾で学んで結婚し、中公OBの青地晨先生に仲人になってもらいました」いつたいどんな連中が読売からやつてくるのか、不安だったはずの雅子さんの硬い表情が一変した。「あらつ・・・・。大宅先生はわが社の大恩人なの。先代（雄作氏）と主人（鵬二氏）は、いつも先生に相談していたのよ。たちどころに飛び出すアイデアにどれだけ助けられたことでしょう。今度も先生は、中公のためにあなたを選んでくれたのかしら」

昭和四年、雄作社長からの中公初代出版部長就任要請を、「勤めは性に合わない」と断り、代わりに独創的な集団翻訳による『千夜一夜（アラビアン・ナイト）』（注・中世イス

ラム世界の説話集。本邦初のバートン版完

訳）全十二巻を毎月刊行。これが戦後、週刊誌のトップ記事づくりの原型となつた。翌五年は、先生初の著作『文学的戦術論』を刊行。六年、富山市で開かれた「婦人公論読者講演会」で講演中に昌夫人を見染め、強引に結婚。『詩と反逆と死』を残して夭折した長男歩さんは一時期、中公嘱託をしていた——中公と先生の縁は、切つても切れないほど深い。

雅子さんは、中公旧社破たんの二年前に夫を失う。すでに経営危機は深刻で、会長兼社長となり、自宅も含め全財産を投げ出して老舗出版社を守ろうとした。金策と労働争議で生きた心地がしない日々が続き、笑顔など忘れていたに違いない。そんなときにも突然、敬愛する大宅先生の話が出て安堵されたのか、雅子さんはいつの間にか私の手を握り、「大変な仕事だけど、お願ひしますね」とほほえんだ。その時ふつと、大宅先生からも「中公再建をしつかりやれよ」とポンと肩を叩かれ

たような気がして、自分の使命と責任の重さに身が震えたのを覚えている。

先生が亡くなられた年の昭和四十五年一月に、私は大宅マスコミ塾七期生になつた。当時大学四年生で、メーカー就職内定が嫌になり、留年するつもりで入塾した。それが不思議なことに、四月に卒塾した時には新聞記者になっていた。たまたま読売で記者追加募集があり、運よく引つかつたのだ。以来、新聞社生活二十九年、出版社生活十五年。私が活字の世界で存分に仕事ができたのは、まさしく大宅先生のおかげである。

中公再建を何とかやり遂げ、私は昨年、中公会長を退任した。マスコミ最前線からは退いたが好奇心を持ち続ける大宅精神を受け継ごうと、退任を機に社会福祉法人を設立した。いま今年四月の保育園開園に向け、園舎の突貫工事中だ。妻はすでに二十年前、ゼロから学校法人を立ち上げ、理事長として幼稚園事業を軌道に乗せていく。われら大宅門下生夫婦は、これからも先生直伝の雑草精神と野次馬根性を忘れず、倍返しとはいかないまでも、せめて半返しで先生のご恩に報いたいと思っている。

（中央公論新社顧問）

略歴（とりやまてる）一九四七年静岡県浜松市生まれ。早稲田大学商学部卒業。七〇年に読売新聞社入社。日曜版編集部、甲府支局、地方部次長、厚生部長などを経て、九九年中央公論新社に出向。総務局長、常務、代表取締役会長を経て、二〇一三年同社顧問、社会福祉法人「桜の里会」理事長。

特集・東京オリンピック

幻の1940年大会、
前回東京大会(1964年)から今年で50年、
「お・も・て・な・し」で2020年開催が決定

昨年九月七日、二〇一三年年の流行語大賞に選ばれた「おもてなし」のスピーチの甲斐もあって、二〇二〇年夏季オリンピックの開催地が東京に決まった。奇しくも今年は一九六四年に東京で行われた前回大会から五〇年という節目の年にあたる。開催されなかつた四〇年大会も交え、三回の東京オリンピックについて紹介したい。

開催されなかつた四〇年大会は、日中戦争の影響などで開催を返上した。皇紀二六〇〇年を記念して大々的に開催されるはずだった四〇年大会は、日中戦争の影響などで開催を返上した。直前の三六年ベルリン大会が「民族の祭典」を謳い、ドイツの国威発揚の場となり、またナチスドイツの宣伝の場にもなつたことで我が国もといいう野心、またアジア地域で初めて開催されるオリンピックとあって、世界に日本を知らしめるべく準備は進み、政府からの支出金を得て、国際博覧会の同時開催も計画されていました。(マーチングードとどめた)

文庫の「雑誌記事索引」をながめると、「オリンピックでどう儲けるか」「オリンピックと経済効果」という記事が多い。八〇年の月日を隔てていても日本人は変わらないのだと思われる。

また開催に尽力した柔道家の嘉納治五郎がオリンピックについての手記を残しているが、嘉納はIOC総会からの帰國途中に病死、未成の原稿が『改造』にそのまま掲載された。

一九六四年の夢と希望としてアジア初開催の栄誉を担つた東京大会は六四年開催に決まった。

敗戦からの復興を世界にアピールする目的のもと、大規模なインフラ整備が行われ、首都高速道路や東海道新幹線が開通、羽田空港が整備拡張された。

自衛隊も開催準備に全面協力すべく、「東京オリンピック支援集団」を市ヶ谷駐屯地に臨時編成し、会場の準備や各種競技の支援にあつた。

四〇年大会ではオリンピック辞退の先鋒であつた河野一郎は五輪担当大臣の任に就き、終戦まで宮家であつた竹田恒徳(現招致会長、竹田恒和の父)がJOC会長の職にあつた。

九十三の国や地域が参加し、いよいよ一〇月一日の開会式当日、聖火ランナー最終走者の坂井義則が聖火台に点火、航空自衛隊のブルーラインパルスが五色のスマーケを使って建築された勝どき橋が名残をとどめた。

五九年の皇太子ご成婚からテレビは急速に

東京オリンピック(1964) 索引紹介

- 5年後のオリンピックを目指して バレードの指揮棒を習う女子高校生 週刊平凡 1960年6月15日
オリンピックを牛耳る自衛隊「金メダルの5つや6つ」の大作戦 週刊読売スポーツ 1961年1月13日
オリンピック中継と通信衛星 調査情報 1963年7月
オリンピックまであと12カ月、完成急ぐ高速道路と競技場 東京改造計画 國際写真情報 1963年11月
夢の超特急はいつ走る 週刊平凡 1964年1月23日
オリンピック後の大衆文化(大宅社一/宮城音弥/福田定良) 放送朝日 1964年3月
アンケート私の観戦計画 1964年10月10日がやってきたとき 放送朝日 1964年8月
聖火ランナー坂井君が選ばれるまで 火花を散らした五輪報道前哨戦 週刊現代 1964年9月3日
聖火いよいよ本土へ 毎日グラフ 1964年9月20日
闇値が語る競技の人気 開会式入場券は16万円 週刊新潮 1964年9月28日

東京オリンピック(1940) 索引紹介

- オリンピック招致の功罪 週刊エコノミスト 1936年9月11日
1940年に備えよ オリンピックを道具にして一儲けする工夫? 中央公論 1936年9月
オリンピックの経済的総決算 オリンピックで独逸は幾許儲けたか 國際パンフレット通信 1936年9月21日
オリンピック経済学 日本評論 1937年5月
戦争とオリムピック 文藝春秋 1937年10月
東京オリンピック政府補助金75萬円 改造 1938年3月
オリンピックと萬国博 改造 1938年6月
わがオリンピック秘録(嘉納治五郎) 改造 1938年7月

東京オリンピック(1964) 索引紹介

- 知事選挙と東京オリンピック 日本週報 1959年1月15日
東京オリンピックの演出者 型やぶりのプリンス 竹田恒徳 週刊文春 1959年6月8日

普及率を拡大し、六四年までには八〇%を超えていた。放送技術も進歩し海外へはアメリカの通信衛星をリレーしてヨーロッパに衛星中継された。

六四年に輝いていた選手たち

東京大会で日本は金メダル十六個を含む二十九のメダルを獲得した。日本選手の活躍に國中が沸いた。

昨年亡くなつた中村（旧姓河西）昌枝を中心とする「東洋の魔女」こと女子バレーボールチームの活躍、ロンドン大会で村田諒太が金メダルを獲得するまで四十八年間ボクシング界唯一の金メダリストだった桜井孝雄、レスリングの吉田義勝が金メダルを紛失するハブニングもあつた。金メダル第一号の陸上自衛官、三宅義信の姪・三宅宏実は競技も同じ重量挙げでロンドン大会で銀を獲得した。

大会から四年の後自ら命を絶つた円谷幸吉の悲劇もあつたが多くの選手は今も健在で、中でも一八九連勝を誇つたレスリングの「アニマル」こと渡辺長武は二〇〇三年マスターズ世界選手権で優勝を果している。

外国人選手で一番の人気はチエコスロバキア（当時）のベラ・チャスラフスカ。体操女子個人総合はじめ三つの金を獲得。その後故国の動乱で練習もままならず出場したメキシコ五輪でも連覇を達成。「日本は第二の故郷」と呼ぶ彼女は二〇一一年の東日本大震災の被災地支援でも来日している。

また二〇〇六年からサッカー日本代表監督を務めたイビチャ・オシムもユーロスマラビア

代表として来日、順位決定戦で川淵三郎・釜本邦茂を擁する日本と戦い二得点を挙げている。オフにサイクリングで訪れた農家で梨をふるまわれ、日本人のホスピタリティに触れて親日家になつたという元祖「おもてなし」なエピソードが残つてゐる。

二〇二〇年の経済波及効果とは？

「オリンピック後の大衆文化」という座談会で大宅壯一は「オリンピックで儲けよう」と計画した奴は十中八九失敗している。ただ、オリンピックで儲けようとするやつを相手になにかをやるやつは確実に儲かる」という谷孫六の言葉を紹介している。

それはさておき大規模なイベントには「経済（波及）効果」が付き物で、記事では三兆円から一五〇兆円まで様々な試算がなされている。「アベノミクス」にとって五輪開催は「第四の矢」といわれる。湾岸地域の遊休地の開發や、地下鉄や羽田空港に連絡する新鉄道など交通網の整備が計画されている。

開催決定後間もなく見直しを求められた国立競技場の整備計画の例もあるが、サッカー新幹線の前倒し運転も持ち上がりつつある。

今年はサッカーW杯がブラジルで開催され、こちらも現地で六兆円という数字が伝えられている。オリンピック開催と合わせ4Kテレビなど新技術の普及が図られるだろう。

未来の世代と敗者復活戦

六年後の開催ということで現在第一線にいる選手がそのまま活躍できるとは限らない。

東京オリンピック（2020）索引紹介

- 勝ち抜くための経済学 経済効果は3兆円?150兆円?
週刊エコノミスト 2013年10月29日
- 輝くのはこの選手 活躍間違いなしの「金」の卵たち
週刊朝日 2013年10月25日
- 「東京五輪」建築の楽しみ方 「新国立」だけではない見所
日経ビジネス 2013年10月28日
- オリンピック便乗交通 実現か幻か
週刊ダイヤモンド 2013年10月19日
- 「おもてなし」で稼ぐ 観光立国の起爆剤
週刊東洋経済 2013年10月19日
- 7年後まで待てない！ツウになるためのマル秘情報24
週刊女性 2013年10月1日
- 東京五輪「経済界の皮算用」リニア計画前倒しまで!
アサヒ芸能 2013年9月26日
- 五輪ノミクスの虚と実「第4の矢」は日本経済の起爆剤となるか
AERA 2013年9月23日
- 五輪を東京へ(竹田恒和) プレジデント 2013年2月4日

東京オリンピック（1964）索引紹介

- オリンピック期間中を休校する早稲田大学総長
サンデー毎日 1964年9月20日
- シンコム3号 東京オリンピックの宇宙中継なる
アルプス・シリーズ 1964年10月18日
- 人気はキャロン、美しさではチャスラフスカ
週刊現代 1964年10月22日
- オリンピック村の美人評判記
平凡パンチ 1964年10月26日
- 敗者復活五輪大会(大宅壯一／司馬遼太郎／三島由紀夫)
中央公論 1964年12月
- オリンピックの“鬼っ子”原宿
週刊朝日 1966年9月30日
- くるオシムほど貴方に夢中 藏出しトリビア 20
FLASH 2006年7月18日
- チャスラフスカ来日記念インタビュー「体操は魂を必要とするスポーツです」 スポーツゴジラ 2011年12月
- 世界を震撼させたメダリストの「人生行路」
週刊朝日 2013年9月27日

しかし一九九五年以降に生まれたいわゆるU18世代の選手には、一〇〇m九秒台を狙う桐生祥秀やロンドン五輪にもエントリーした土井杏南、体操床運動と跳馬で新技「シライ」を完成させた「ひねり王子」白井健三、卓球女子シングルの最年少勝利記録を更新した平野美宇、レスリング世界選手権で優勝した登坂絵莉、昨年Jリーグのベストヤングプレーイヤーに選ばれたセレッソの南野拓実、少し年長だがオリンピック招致最終プレゼンに参加したトライアスロンの佐藤優香もいる。

彼らが順調に力をつけていけば、アテネ五輪で獲得したメダル最多獲得数三八を更新するのも夢ではない。そのために日本全体会スボーツへの関心と普及を進めていくことも重要なバックアップとなるだろう。

「敗者復活五輪大会」で大宅社一は「こんどのオリンピックは：敗者復活戦だと思う：戦争で負けた日本が、なんらかの形で復活したい」という意欲をもっていた」と述べている。

四〇年大会の前の日本は世界恐慌から続く不況、満州事変による国際関係の悪化、昭和三陸大津波という状況で開催が中止された。しかし六四年の東京大会により敗者復活戦を勝ち上がり、やがて七〇年代の高度経済成長のきつかけにもなった。

九〇年代にバブル崩壊が起こり「失われた」一〇年、二〇年という不況が続いている日本は経済の復活をかけ二〇二〇年の東京開催に臨む。日本選手の活躍に期待しながら六年後を楽しみに待ちたい。

最強チームはジーコ・ジャパン！

サッカー日本代表歴代監督を索引件数で比較！

いよいよW杯ブラジル大会の年が来た。

昨年十二月七日に組み合わせ抽選が終わり、対戦国も決まった。W杯企画として二十年前、「ドーガの悲劇」以降の日本代表監督と

彼らが率いた代表チームをランキングした。

歴代監督の索引件数とは別に、サッカー日本代表が定着させた「監督名+ジャパン」を数字化するため、キーワード「日本代表」+大会ごとの「日本代表」「就任期間」で区切って件数をカウントしてみた結果は別表の通り。

やはり現役時代の知名度と監督としての期待度からジーコ・ジャパンは別格の件数を誇り、日韓大会のトルシエ・ジャパンがそれに続く。ところがジーコ以降は少しずつ件数が減ってきており、サッカー及びJリーグ人気がピーク時からゆるやかに低下している現状を思わせる。

しかし、Jリーグ発足以前の「日本代表」キーワードの件数が一〇件に満たないことを考えれば、わずか二十年でオリンピックに匹敵する件数になったのは、それだけサッカーがわが国に定着したことの証明であろう。ブラジル大会のザック・ジャパンの活躍に期待したい。（参考に九二年以降のオリンピック各大会の件数推移を付した。）

監督名	就任期間	件数	チーム件数	W杯大会（開催年）
ハンス・オフト	1992－1993	76	41	アメリカ(1994年)
パウロ・ロベルト・ファルカン	1994	34	58	
加茂周	1995－1997.10	120	294	
岡田武史①	1997.10－1998.8	403	634	フランス(1998年)
フィリップ・トルシエ	1998.9－2002.6	407	1032	日韓(2002年)
ジーコ	2002.7－2006.6	483	1697	ドイツ(2006年)
イビチャ・オシム	2006.7－2007.11	345	311	
岡田武史②	2007.12－2010.7	403	914	南アフリカ(2010年)
アルベルト・ザッケローニ	2010.8－	105	545	ブラジル(2014年)

参考：オリンピック記事索引件数の推移／開催地（開催年）件数

バルセロナ大会(1992) 224件／アトランタ大会(1996) 425件／シドニー大会(2000) 577件

アテネ大会(2004) 698件／北京大会(2008) 924件／ロンドン大会(2012) 478件

ホームページリニューアル記念公開

大宅壮一作品紹介『日本の遺書』

大宅壮一文庫ホームページは、昨年一〇月一日に、リニューアルオープンいたしました。

カラフルにビジュアル化され、随时、新鮮な情報をご提供しています。ぜひ一度スマートホンからでもご訪問ください。アドレスは <http://www.oya-bunko.or.jp/> で、これまでと変わりありません。

各種の資料サービスのご案内やお知らせの他、週替わりに雑誌記事索引資料をご紹介しています。

「あまちゃん」や「嵐」にたくさんの方々が見ています。また雑誌記事索引検索Web版の利用方法や無料トライアルの申込書もダウンロードできます。

大宅壮一の紹介コーナーでは、著作の本文を紹介しています。リニューアル記念として一九五〇（昭和二五）年にジープ社より刊行された『日本の遺書』の本文を連載しています。大宅壮一の秘書を務めた奥田史郎氏の詳しい解説がありますので重複した説明は避けますが、この小説は華族出身で一九三七（昭和一二）年から四一（同二六）年までの間三度首相を

務めた近衛文麿を主人公として描いています。

大宅壮一は戦後活動を再開し、本格的な長編の素材として近衛文麿を選びました。この作品は雑誌『小説読物街』（高島屋出版部）で「近衛をめぐる昭和秘史」と題されて四九（昭和二四）年十二月号から翌五〇（同二五）年三月号まで連載され、大きな反響を呼びました。同年五月にはジープ社から単行本が発行されました。その後四年に角川書店から文庫版として出版され、『大宅壮一選集』（筑摩書房、六〇年）、『大宅壮一全集』（蒼洋社、八二年）にも収録されています。

GHQ出頭の四五年十二月十六日早晩に服毒自殺を遂げた近衛を描くため、大宅壮一は資料調べに三ヶ月の間毎日国会図書館に通い、当時まだ存命だった近衛を知る関係者に綿密な取材を重ね四年後には連載を開始しました。

連載開始にあたって吉川栄治、尾崎士郎、馬場恒吾、後藤隆之助、阿部真之助の序文が寄せられ、単行本にも収録されています。自殺までを描いた「序篇」を第一回として「青春篇」「外国篇」「政治篇」と続きましたが『小説読物街』の休刊とともに連載を終了しました。（『政治篇』が掲載された五〇年三月号は当館でも所蔵していません）

ジープ社版の「あとがき」には「いずれそのうちに、この後篇を書きたいと思つてゐる」とありますが評論活動が多忙をきわめ、続編が書かれることはませんでした。

一八九一（明治二四）年生まれの近衛は一九〇〇（明治三三）年生まれの大宅壮一より

近衛文麿主要索引紹介

著者：近衛文麿

英米本位の平和主義を排す

日本及日本人 1918年12月15日

倫敦より

太陽 1919年12月1日

中学卒業生は郷党における知識階級

中央公論臨増 1923年6月

わが遍歴時代

文藝春秋 1933年9月

新日本の姿を示せ

文藝春秋 1934年9月

訪米印象記

中央公論 1934年9月

座談 日本の現在と将来

日本評論 1936年1月

日本改造の諸問題

日本評論 1936年5月

座談 近衛文麿公開談会

文藝春秋 1936年7月

東亜百年の和平

話臨増 1938年7月

暗黒日本を凝視して（遺稿）

週刊朝日 1946年2月24日

元老重臣と余（遺稿）

改造 1949年12月

九歳年上ですが、明治・大正・昭和と生きたこの人物を「同時代人」として描き、特に「青春篇」の京学生生活は大宅壮一自身の三高生時代の体験が色濃く反映されています。大宅壮一は批評を極力抑えて描かれたこの作品を、「伝記」や「記録文学」ではなくあくまで「創作」（ジープ社版あとがき）と称しています。明治・大正・昭和という時代を描く試みはやがて『炎は流れる』（一九六三年一月から六四年一〇月までサンケイ新聞に長期連載）に引き継がれてゆきます。「偉大なる明治」と「現代」ということでいまもつづいている昭和との谷間にあって、最も混乱した時代、見る人によつては軽蔑されている時代である。しかし、わたくしにとつては、

いちばん懐かしい時代である」「明治に生まれ、大正に育つて世に出た人々で…そういう存在の一人として、大正期のことを書き残す責任がある」と『炎は流れる』の「まえがき」で書かれています。

大宅壮一はこの作品の他に近衛文麿についての文章を二本書き残しています。いずれも『日本の遺書』発表の一九五〇（昭和二十五）年で『大宅壮一選集』に『昭和政界史』と「近衛文麿論」として収録されています。『日本の遺書』で抑えられていた批評性はここで近衛の政治活動や戦争責任について切り込まれ、さらに近衛は「単なる一首相ではなかつた。もしも日本が共和制であつたならば、世界を驚かすような圧倒的な数字で、彼は日本大統領に選ばれたであろう。：当時の彼は、事實上の天皇であつたとさえいえないこともない」と評しています。

「近衛文麿論」のなかで大宅壮一は「日本人の民族的性格として第一にあげねばならぬのは、現実に対する驚くべき適応力である。：したがつて日本人はたいてい本質的に現実主義者である。理想を求めても…せいぜい、理想追随者、以上には出ない。：日本の政治家で、政権をとるほどのものは、すべて『現実者』である。『理想追随者』でも、政権の座についた途端に、現実の前に無条件降伏するのが原則となつていて」と書いています。驚くべき人気を誇り理想を持ち続けた近衛文麿という人物とその時代をぜひ味わつて下さい。

（現在「序篇」を公開中です）

Web OYA-bunko会員版

個人会員向けサービスを開始しました！

雑誌記事索引検索サービス「Web OYA-bunko会員版」が昨年九月一日より、個人会員の皆様にも特別料金でご利用いただけるようになりました。次頁でご紹介の最新のキーワードによる多種多様な索引検索にとどまらず、オンライン機能により簡単な操作でファクシミリ複写送信サービスもご利用できます。

約十一万人の人物項目と約七万語のキーワードから検索が可能。約一四〇〇誌の雑誌を収録。現在刊行中の雑誌は約四〇〇誌を採録しています。

【トライアルサービス申込方法】

・会員版：Web OYA-bunko管理室までメールでお申込み下さい。

(weboya.kanri@oya-bunko.or.jp)

メールの「件名」にトライアル希望と記入して下さい。「本文」には①申込者氏名②会社名または団体名③部署名④電話番号⑤FAX番号を記載して下さい。メールで「トライアル申込書」を返信いたします。

・教育機関版、公立図書館版：当館ホームページの「Web OYA-bunko利用案内」をご覧下さい。「無料トライアル申込書」もこちらでダウンロードできます。(http://www.oya-bunko.or.jp/)

詳しくはWeb OYA-bunko管理室(田中・北越)までお問い合わせ下さい。
電話 03-3303-9968

Y A - b u n k o 会員版」が昨年九月一日より、個人会員の皆様にも特別料金でご利用いただけます。次頁でご紹介の最新のキーワードによる多種多様な索引検索にとどまらず、オンライン機能により簡単な操作でファクシミリ複写送信サービスもご利用できます。

八円（税込料金）となります。基本料金（月額固定料金）は一切かかりません。

「検索結果一覧」からダイレクトに記事のファクシミリ送信申込みができる「オンライン受付複写サービス」は一枚二六〇円（税込）で、通常のファクシミリサービス（一枚三〇〇円）よりお得な料金です。

さらに、「IDとパスワード認証」により、フットワークは自由自在。お出かけ先で「雑誌記事索引」をいつでも、どこでも検索でき、必要な記事を簡単に入手できます。

一ヶ月無料の「トライアルサービス」を実施しています。トライアルサービスは検索に限りご利用いただけます。入会をご検討の方のトライアルも歓迎いたします。

【取録データ】一九八八年以降の雑誌記事索引、約三八〇万件。毎週三回（月・水・金）

の更新を行い、毎週三千件の新データが追加されます。

「目録検索」で明治期から八七年までの約一〇〇万件の索引データも無料公開中です。

約十一万人の人物項目と約七万語のキーワードから検索が可能。約一四〇〇誌の雑誌を収録。現在刊行中の雑誌は約四〇〇誌を採録しています。

【トライアルサービス申込方法】

・会員版：Web OYA-bunko管理室までメールでお申込み下さい。

(weboya.kanri@oya-bunko.or.jp)

メールの「件名」にトライアル希望と記入して下さい。「本文」には①申込者氏名②会社名または団体名③部署名④電話番号⑤FAX番号を記載して下さい。メールで「トライアル申込書」を返信いたします。

・教育機関版、公立図書館版：当館ホームページの「Web OYA-bunko利用案内」をご覧下さい。「無料トライアル申込書」もこちらでダウンロードできます。(http://www.oya-bunko.or.jp/)

詳しくはWeb OYA-bunko管理室(田中・北越)までお問い合わせ下さい。
電話 03-3303-9968

2013年を大宅壮一文庫作成の件名キーワードで振り返る

当館の雑誌記事索引 Web 版は、利用者のニーズに応じ、素早く確実に必要なデータにたどりつくように工夫している。世間の注目を集めたトピックスや事件・事故などの出来事をキーワード化している。

2013年に作成した約300件のうちから主要な件名キーワードを紹介して一年を振り返ってみたい。

【】は大項目、件名キーワード→「小項目」、キーワードの記事件数（2013年12月調査）

【政治・その他】

- ・特定秘密保護法→「秘密保護法」70件
- ・国家安全保障会議（＝日本版NSC）→「内閣機関」37件
- ・ネット選挙運動→「選挙運動」123件
- ・2013年参院選→「2013年参院選」138件

【経済】

- ・スタグフレーション→「戦後日本経済一般」19件
- ・NISA（＝少額投資非課税制度）→「税金一般」57件
- ・産業政策→「産業一般」72件
- ・ノバルティスファーマ→「医薬品各社」44件
- ・中小企業金融円滑化法（＝モラトリアム法）→「企業と銀行」69件
- ・ソーシャルファイナンス→「ソーシャルファイナンス」128件
- ・日本取引所グループ→「証券取引所、兜町、北浜」34件

【世界】

- ・朴槿恵政権→「朴槿恵政権（韓国）」31件
- ・シャドーバンキング（＝影の銀行）→「経済・産業一般（中国）」50件
- ・モルシ大統領退陣→「革命、政変（エジプト）」48件
- ・アルジェリア人質テロ事件→「アルジェリア一般」93件
- ・天然ガス→「経済、産業（アメリカ）」83件
- ・スノーデン事件→「NSA（アメリカ）」61件
- ・ボストン爆弾テロ事件→「暗殺、テロ（アメリカ）」36件

【右翼】

- ・ネット右翼→「戦後右翼一般」44件
- ・在特会（＝在日特権を許さない市民の会）→「諸団体（右翼）」43件

【災害】

- ・伊豆大島土石流災害→「生き埋め、土砂崩れ」14件
- ・防潮堤→「津波」38件

【犯罪・事件】

- ・資産家夫婦殺害事件（2012）→「殺人事件一般」21件
- ・三鷹・女子大生ストーカー殺人事件→「殺人事件一般」14件
- ・山口・5人連続殺害放火事件→「大量殺人、連続殺人」16件
- ・広島・少女死体遺棄事件→「少年の殺人」14件

【世相】

- ・まつ毛エクステ（＝つけまつ毛）→「化粧法」141件
- ・化粧品トラブル→「化粧品」76件
- ・コンビニコーヒー→「珈琲」15件

- ・俺のイタリアン→「チェーン店、外食産業」13件
- ・俺のフレンチ→「チェーン店、外食産業」12件
- ・バリュークリエイト→「チェーン店、外食産業」11件
- ・空き家問題→「住宅問題」23件
- ・タワーマンション（＝超高層マンション）→「マンション」162件
- ・プロジェクトマッピング→「照明」13件

【世代】

- ・待機児童→「保育施設」120件
- ・半グレ→「…族、青年の溜り場」31件
- ・大阪桜宮高校体罰自殺事件（2012）→「体罰」62件

【おんな】

- ・卵子凍結→「人工授精、試験管ベビー」21件

【交通機関】

- ・JRの不祥事→「荒廃、不祥事（JR）」71件
- ・ななつ星→「夜行電車」16件

【趣味・レジャー】

- ・電王戦→「将棋一般」17件

【賭博】

- ・ロト7→「くじ」67件

【スポーツ】

- ・東京オリンピック（2020）→「東京大会（2020）」278件
- ・全柔連（全日本柔道連盟）→「柔道一般」59件
- ・徳島ヴォルティス→「Jリーグ」19件
- ・松本山雅FC→「Jリーグ」13件

【芸能・芸術】

- ・風立ちぬ→「アニメーション一般」50件
- ・進撃の巨人→「アニメーション一般」10件
- ・そして父になる→「日本映画・ソ」24件
- ・ママタレント→「スター・家族」37件

【マスコミ】

- ・蔦屋書店→「販売、書店」18件
- ・4Kテレビ→「テレビ受像機・技術」25件
- ・あまちゃん→「NHK朝のテレビ小説」225件
- ・ごちそうさん→「NHK朝のテレビ小説」28件
- ・半沢直樹→「その他ドラマ・ハ」87件
- ・リーガル・ハイ→「その他ドラマ・リ」40件
- ・痛快！ビッグダディ→「その他番組」146件
- ・ほこ×たて→「その他番組」13件
- ・炎上→「インターネット」102件

【教育】

- ・国際教養大学→「国・公立大学・カ」22件

【言語】

- ・TOEFL→「英語」33件

【科学】

- ・3Dプリンター→「精密機器（電卓、翻訳機など）」40件
- ・廃炉→「原子力発電」61件
- ・イブリソンロケット→「人工衛星・ロケット一般」14件
- ・ダイオウイカ→「イカ、タコ、クラゲ」26件
- ・通販薬（＝医薬品通販）→「薬一般」82件
- ・ガン予防ワクチン→「ガン・予防、治療」83件

【地方】

- ・川上→「長野・各地」14件
- ・KITT（＝JPタワー）→「丸の内」20件
- ・教会→「歴史、史跡、教会（長崎）」66件

□越生分館冬季臨時休館のお知らせ

埼玉・越生分館は、大宅社一の遺品、

生前の愛用品を展示。執筆のため活用

した書籍を所蔵しています。

現在冬季休館中ですが二月四日(火)

より、左記の通り開館します。

【開館日】毎週火曜日(祝日休館)

午前十一時から午後四時まで開館(十

二時から一時まで昼休み)

入館料三〇〇円(税込)※コピーサー

ビス、館外貸出は行いません。

東京本館で越生分館所蔵雑誌・書籍

を閲覧する場合、取り寄せに数日かか

りますのでご了承下さい。

□Web OYA-bunko会員版 個人向けサービス開始

六面でもご紹介しましたとおり、昨
年九月一日より「Web OYA-b
unko会員版」の個人向けサービス
を開始いたしました。

索引検索料金は、索引表示一件につ
き一八円(税込)です。基
本料金(月額固定料金)は

かかりません。検索結果か
らダイレクトにファクシミ
リ送信申込みができる「オ
ンライン受付複写サービ
ス」は一枚二六〇円(税込)
で通常のファクシミリサー
ビス(一枚三〇〇円)より
お得です。

一ヶ月間無料の「トライ
アルサービス」(検索に限

定)を実施中です。入会を検討中の
方のトライアルも歓迎いたします。予めご了承下
申込み方法は六面をご覧下さい。

申込み方法は六面をご覧下さい。

申込み方法は六面をご覧下さい。

申込み方法は六面をご覧下さい。

申込み方法は六面をご覧下さい。

カラーレプリカへ、もしくはその逆の変
更には対応できません。予めご了承下
さいますようお願いいたします。

利用案内外の読物ページも充実させ
ました。是非一度ご来訪下さい。

URL <http://www.yabunko.or.jp/>

□バックヤード無料見学ツアー開催

昨年より館内見学会を開催しており
ます。以前からご要望の多かつた書庫
内見学やWeb OYA-bunko
の検索体験など、二時間程度のコース
をご用意しています。

昨年四、七月に統いて十一月十日に
開催した第三回では、当館所蔵のカタ
ログ雑誌「グッズプレス」「特選街」「モ
ノマガジン」などの特別展示を行い、
懐かしのヒット商品記事をご覧いただ
きました。タイムカプセルとして雑誌
をお使いいただくひとつ参考になれ
ばと存じます。

今後も特別展示など用意して、開催
して行く予定です。開催日程と参加募
集はホームページで告知します。参加
をお待ちしています。

団体での見学も随時受付けておりま
す。お申し込みは担当・黒沢までお問
い合わせください。

電話 03-3303-2000

□ホームページをリニューアル公開

昨年一〇月一日、ホームページをリ
ニューアル公開いたしました。カラフ
ルなビジュアル化により見やすくなり、
更新頻度を増加しました。

加えて五面で紹介している大宅社一
この他に各雑誌の出版元から、定期
的にご寄贈いただいております。

□雑誌・書籍寄贈受入(個人)

阪本博志 林栄子 阿部恒久 伸本
淳 松園伸子 長原春雄 阿部滋英
森桂 国見修二 井熊正夫 足立原三
紀子 (敬称略・受人順)
この他に各雑誌の出版元から、定期
的にご寄贈いただいております。